



# ノメテクスの罠

1312

ちか

「ノメテクス」人類に火を与えたり、神話の神族

福島県南相馬市

放射能が危険だから家の中で待機しなさい。政府は、最初の爆発から3日後の2011年3月15日、市役所のある原町区に入る原発30ヶ所圏内に屋内退避を指示した。いつか俺の思いは、同じくコ屋と分かってくれた」と語る。

東京電力福島第一原発で建屋が次々と爆発しても吉沢が牧場にどまっていた頃、その桜井は市長として危機的な事態に向き合っていた。

代表・山路徹(59)の「ノメテクス」を市長室で受けた桜井は、暮るいら立ちを明かした。

「食糧も物資も圏内に入っているが、タンクローリー車は圏外で運転が、置き去りに。コンビニは売断り、閉鎖。まるで兵糧攻めだ」

翌16日午後1時すぎ、ニコエ映像を配信するAPF通信社(東京)



山路徹(右)と勝延さん(左)木野村匡謙さん撮影

# まるで兵糧攻めだ

希望の牧場 ②

1312

放射能が危険だから家の中で待機しなさい。政府は、最初の爆発から3日後の2011年3月15日、市役所のある原町区に入る原発30ヶ所圏内に屋内退避を指示した。いつか俺の思いは、同じくコ屋と分かってくれた」と語る。

東京電力福島第一原発で建屋が次々と爆発しても吉沢が牧場にどまっていた頃、その桜井は市長として危機的な事態に向き合っていた。

# ノメテクスの罠

1313

ちか

「ノメテクス」人類に火を与えたり、神話の神族

「何じ来たんだ！」

食糧や燃料などの生活物資も滞り、兵糧攻め」の孤立状態にあった。ほとんどの救援物資は、政府が設定した屋内退避指示の30ヶ所圏の外側で止まっていた。

「政府に実態が伝わっていない。何かお手伝いできませんか？」

元民主党関係者が借っていた事務所に泊まり込んだ。国会と南相馬市、そして各地の被災現場を行き来する生活が始まった。



高島勉さん(木野村匡謙さん撮影)

# 家畜はどうすんだ

希望の牧場 ②

1313

「何じ来たんだ！」

食糧や燃料などの生活物資も滞り、兵糧攻め」の孤立状態にあった。ほとんどの救援物資は、政府が設定した屋内退避指示の30ヶ所圏の外側で止まっていた。

「政府に実態が伝わっていない。何かお手伝いできませんか？」

元民主党関係者が借っていた事務所に泊まり込んだ。国会と南相馬市、そして各地の被災現場を行き来する生活が始まった。

# ノメテクスの罠

1314

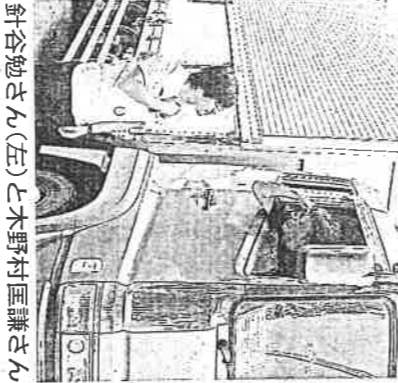
ちか

「ノメテクス」人類に火を与えたり、神話の神族

2011年5月

立ち入りが禁じられた警戒区域内のA.P.F.通信社の針谷勉(40)は同僚の木野村匡謙(43)らと、東京電力福島第一原発から20ヶ所圏の警戒区域内の取材を続けた。

場主・吉沢正巳(61)に出会う。吉沢牧場を訪ねた高島が牧場の提議先の社長らから現状説明を受けている傍らで、吉沢は黙々と牛にエサをやっていた。いま、牧場見学者の前や東京の街頭で雄弁に演説をうた。30頭の被災牛をそのまますましかし続けるという「希望の牧場」プロジェクトに巻き込まれていく。



針谷勉さん(左)と木野村匡謙さん

# 真実を、伝え切る

希望の牧場 ②

1314

立ち入りが禁じられた警戒区域内のA.P.F.通信社の針谷勉(40)は同僚の木野村匡謙(43)らと、東京電力福島第一原発から20ヶ所圏の警戒区域内の取材を続けた。

福島県南相馬市役所で知り合った衆院議員の高島勉(41)は同行し、どこどこした失火のごだった。そして牛……と順番に対応を進めて調整のため、初めは馬、次に豚、牛の調整を進めた。

身入人生を大きく変える浪江町の牧

けない。遺体があがっても遺族は火葬ができない。油がない、従養員も逃げたので火葬場は昨日、閉鎖し、先に南相馬市内に入った針谷は流した。「絶対に現地に入らねば」

山路が含流しての取材だった。

「たごが地獄なんだ」

「ノメテクス(送令や社会規範の順守)で避難道が区画の狭間は使えないうちで、世界の紛争地で、アソリア……」

「たごが地獄なんだ」

「ノメテクス(送令や社会規範の順守)で避難道が区画の狭間は使えないうちで、世界の紛争地で、アソリア……」

「純選の民主党の有力派」米メデアインテリゲンチヤ社(米国防省)の国家安全保障の問題であり、国民全体で負担すべき重要な課題

「この事件には繋がりがあって、部下の武田秋穂ごときに捜査を開始

当時の市役所には、行方不明の家族や原発事故の情報を求める人々、支援助金の不足を訴える人たちが次々と来て、殺気立っていた。不安や不満をおまける人もいた。

特に4月22日に原発20ヶ所圏内の立ち入りが禁止されてからは、「馬、豚、牛はどうすんだ」という畜産農家からの苦情が相次いでいた。

「飼いまが家畜の餌やりなどで入城できるようにしてほしい。高島は、すぐに状況を理解し、自

牧場」を支援するスグツツにのびた「で取材と並行して、取り残された」ことを伝えたときも、「自分で判断するよつに」とだけ答えた。

中立性を失うほど取材対象にのめり込む。コメンタリス(送令や社会規範の順守)に反する。どれもアソリアに疑問を感じ、動機先のナヒビ局を退社。独立後の1992年、紛争地専門のニュースを扱う今人の通信社を立ち上げた。

「震災・原発報道も戦争報道と変わりない」が持論だ。原発の爆発直後、針谷らが「20ヶ所圏内に入っていくか」と尋ねたときも、「希望の通信社を立ち上げた」

名探偵がいる

あなた死体は好き、

死体探偵 伊坂幸平

「死体探偵」伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。

伊坂幸平

伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。

伊坂幸平

伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。

伊坂幸平

伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。伊坂幸平の代表作。死体探偵の活躍を描いた小説。

### 「明るい未来」 やめる理由聞けず

1562

双葉地方原発反対同盟を結成。反原発運動を発展させていった。初賀の町町長となる今は三吉君本恵夫と出会った。

本恵夫と出会った。隣り合う双葉、大熊の2町にまたがる地区に原発を建設する計画を東京電力が発表し、用地買収が本格化した頃でもあった。

岩本は石丸らとともに地域の労働運動や青年運動をまとめ、72年には

「ロメテウスの民」人類に火を与えたギリシヤ神話の神様

### 「明るい未来」 やめる理由聞けず

1562

は、東北電力の「浪江・小高原発建設計画を進んでいた。岩本、石丸らはここで、「二坪運動」で抵抗を続けた。反対派の地主から予定地の山林を少しずつ贈与され、用地買収を阻止していた。

そんな中、石丸は岩本から、ある日、用地買収を阻止して、断絶をひそかに伝えられた。「二坪」以来、細かな日付や場所を感じ、不安を与えただけでなく、世間の大勢がそぞろに

石丸は2012年末に脳梗塞を患った。以来、細かな日付や場所を感じ、不安を与えただけでなく、世間の大勢がそぞろに

岩本は石丸らとともに地域の労働運動や青年運動をまとめ、72年には

### 「明るい未来」 やめる理由聞けず

1563

原産城下町の福島双葉町を象徴するスローガン「原子力、明るい未来のエネルギー」その考案者である大沼勇治(40)を表彰した岩本恵夫が「これで終わるような人じゃない。何かやると思っていた」

85年、公共工事費の不正支出問題で当時の現職が辞職したあとの町長選挙に、岩本が名乗りを上げた。

選挙の前には双葉地方原発反対同盟の委員長を辞し、「浪江・小高原発」建設計画に反対する一坪地主も返上する。そのことは同志の石丸小

「ロメテウスの民」人類に火を与えたギリシヤ神話の神様

### 「明るい未来」 やめる理由聞けず

1563

いえ「人情家でクリーンなイメージの岩本を選んだ」。

「想定内」だったが、5期20年の長期町政の中で原産推進策を次々と打ち出し、東京電力に原発増設まで求めた際には、石丸も驚き、失望を深めた。

「想定外というよりも、まさかここまで……」と。

一方石丸は、長い「メテウス」

## 辺野古和解 翁長氏 裁判負けても「設計変更」

### 県、手続きに沿って審査申請

県が審査を申し出たの7日に出した是正指示は連日、総務省の第三者機関法だと主張している。翁長氏は14日午後、記者会見を開き、「委員会には中立を

「国地方係争処理委員会」。

石井啓一国土交通相が毎月

判決が下された場合は、国も県も判決に沿った姿勢を示して進めていくという趣旨を3月7日午後の会見

翁長氏は、裁判で負けた後、国が移設工事などの意向を示している。だがその後、国が移設工事の本格的に取り掛かるとする初の通達を、厚労省が近く全国の労働局長の会で明らかにした。従来どおしにも配るパンフレットなども「権利乱用にあたる」として、追いつけず、司法で判断さ

とらいつ、問題視している(北川豊一吉寛吉)

「ロパニア」(ローパー)と呼ばれる、在籍のまま人材会社で転職先を探させる方法も国会などで取り上げられている。これについて、追いつけず、司法で判断さ

最近では、低評価の社員を「ロパニア」(ローパー)と呼ばれる、在籍のまま人材会社で転職先を探させる方法も国会などで取り上げられている。これについて、追いつけず、司法で判断さ

最近では、低評価の社員を「ロパニア」(ローパー)と呼ばれる、在籍のまま人材会社で転職先を探させる方法も国会などで取り上げられている。これについて、追いつけず、司法で判断さ

### 業務で転職先探し「不適切」

厚労省、労働局に初通達

翁長氏は14日の会見で「法令のことで、監督者として主張していく」と、首相官邸は強気の姿勢をこたへ、翁長氏も移設事業に協力せざるを得なくなると分析する。

「ロパニア」(ローパー)と呼ばれる、在籍のまま人材会社で転職先を探させる方法も国会などで取り上げられている。これについて、追いつけず、司法で判断さ

最近では、低評価の社員を「ロパニア」(ローパー)と呼ばれる、在籍のまま人材会社で転職先を探させる方法も国会などで取り上げられている。これについて、追いつけず、司法で判断さ



反原発デモで先頭を歩く岩本恵夫さん(中央)＝1980年

### 「原産は薬物中毒」

1563

「彼も苦しんだと思います。原産は今は今も心の傷を抱えているのではないか。石丸は答えた。

勇治を生み出した。その中で、彼らは今も心の傷を抱えているのではないか。石丸は答えた。

「その通りです。東電にとっては利用価値のある政治家だったでしょう。だからこそ、徹底して利用し尽くしたわけです」(本田雅和)

### 「原産は薬物中毒」

1563

「原産は薬物中毒と同じなんです」

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

### 「原産は薬物中毒」

1563

「原産は薬物中毒と同じなんです」

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

### 「原産は薬物中毒」

1563

「原産は薬物中毒と同じなんです」

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

### 「原産は薬物中毒」

1563

「原産は薬物中毒と同じなんです」

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

### 「原産は薬物中毒」

1563

「原産は薬物中毒と同じなんです」

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

石丸は、岩本もまた、原産政策の犠牲者の一人だったと見ているのだ。かつて、原産で次の原産が欲しいという時、何十億円という原産で潤っていた。原産は薬物中毒と同じなんです。

新書大賞 2016 第1位! 18万部突破

## 京都

おかげさま 朝日

反原発運動で 反安保法制

小林哲夫

新装復刊! 最速! スター・アクト

## 不条理な

逃げ出したく 読む本

700万部突破! 佐伯泰

密命

石持淺海 少女

西村京太郎 プレイ

南英男 刑事稼業 猿

森村誠一 星の陣

鳥羽亮 はみ

いずみ光 桜流し

欣喜の風 小

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』④

1567

### 風景と切り離された

福島県双葉町。原簿推運の標語を掲げてきた「原簿推運」の撤去事が再掲された。4月4日、標語考案者の大沼(40)は、妻・せの(40)と現簿「町の空気がたいな存在だった」大沼が言う「原簿P只看板が、これで完全に街並みから消えた。再開された工事は、1日で終わった。メインストリートからは何の妨げもなく、3月の青空が昇滅せる。大沼は長き16日、クレーンでつり上げられ、大型トローリで町役場駐車場へ運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「町の空気がたいな存在だった」大沼が言う「原簿P只看板が、これで完全に街並みから消えた。再開された工事は、1日で終わった。メインストリートからは何の妨げもなく、3月の青空が昇滅せる。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』③

1568

### 真実と向き合い闘う

第一原簿に迫るところにいた。しかし町内に入るとすぐ、森住の河隆一(72)や豊田直巳(69)らフリーランスの写真・映像ジャーナリスト仲間らと一緒だった。

郡山市の宿舎から出発する未明、かけようといこうとになった。そこへ自乗車に乗ったおじいさんが通りかかると、自宅が心配で、北西大沼勇治(40)は、それを見て驚いた。改めて森住と一緒に見た。

「標高が高くて避難した方がい」と納得し、ヨウ素剤を渡すと、それを飲み、戻っていった。

当時の一部始終を記録した映像がインターネットにあげられていた。双葉町の原簿P只標語「原子力明るい未来のエネルギー」の考案者・大沼勇治(40)は、それを見て驚いた。改めて森住と一緒に見た。

「このおじいさんは、僕の母方の親族を助けていたとき、ありがとなく亡くなった。84歳だった。

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』②

1565

### 警鐘の詩人の励まし

先月24日。福島県双葉町の原簿P只標語「原簿推運の標語を掲げてきた」大沼が、急いで平和と民主主義を聞き生かすとき、その聞いた若松は、自ら書いた詩人によって委されたのだ。

「原簿推運の標語を掲げてきた」大沼が、急いで平和と民主主義を聞き生かすとき、その聞いた若松は、自ら書いた詩人によって委されたのだ。

「原簿推運の標語を掲げてきた」大沼が、急いで平和と民主主義を聞き生かすとき、その聞いた若松は、自ら書いた詩人によって委されたのだ。

「原簿推運の標語を掲げてきた」大沼が、急いで平和と民主主義を聞き生かすとき、その聞いた若松は、自ら書いた詩人によって委されたのだ。

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』①

1567

### 「僕の写真が彼をそこまで苦しめていたとは知らなかった!」

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』①

1567

### 「僕の写真が彼をそこまで苦しめていたとは知らなかった!」

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

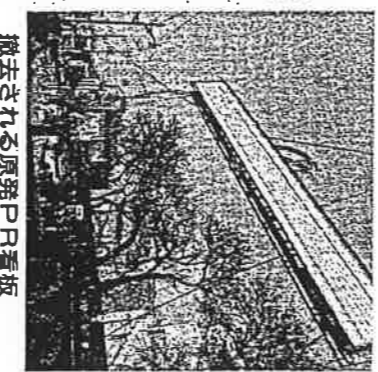
「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

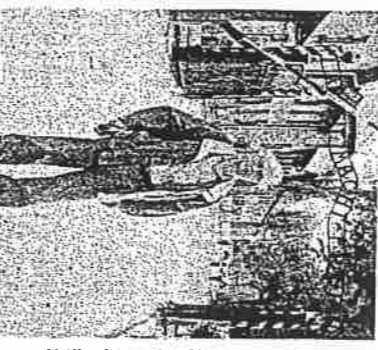
「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。



撤去される原簿P只看板



撤去直前に森住さん(左)と



強制収容所の看板の前に立つ若松さん

『ロマノフ人類に火を与えたり』神話の神族

### 『明るい未来』①

1567

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

「原簿推運の標語を掲げてきた」原簿推運の標語は、高さ4・5メートルを支えていた高さ4・5メートルの鉄柱。本も根元から焼き切られ、同じ場所に運ばれた。

# 甲状腺がん「多発」 どう考える



国立がん研究センターがん予防・検診研究センター長

## 津金昌一郎さん

日本全体の甲状腺がんの罹患率（がんを診断される人の割合）から推計できる18歳以下の有病者数（がんの人の数）は福島県の場合、人口から見て2人程度。実際にがんを診断された子どもの数は、これと比べて「数十倍のオーダー（水準）で多い」とは言える。

数年後に臨床症状をもたらすがんを前倒して見つけているという「スクリーニング効果」だけでは、この多さを説明できない。現時点では放射線の影響で過剰にがんが発生しているのではなく、「過剰診断」による「多発」とみるのが合理的だ。

過剰診断とは、将来的に症状が現れたり命を脅かしたりすることのないがんを診断で見つけてしまうこと。がんの中にはゆっくりと成長するもの、そのままだと状態にとどまるもの、そのうち小さくなったり消えたりするものもある。

大人の甲状腺がんについては韓国の報告などで、過剰診断による増加が明らか。精度の良い検査の普及などで韓国では1年間に甲状腺がんを診断された人は1993〜2011年の18年間で15倍に増えたが、亡く

の割合、事故から検査までの期間をふまえて解析してみると、被曝量と病気の相関関係、つまり「量-反応関係」も見えてくる。

県は、チェルノブイリ原発事故では4〜5年後から乳幼児で増えたのに対し、福島では10歳以上に多いなど、違いを強調する。しかし、ベラルーシやウクライナの症例報告書を見ると、チェルノブイリ事故の翌年から数年間は10代で増えているなど、福島と驚くほど似ている。

福島で放出された放射性ヨウ素は、チェルノブイリの10分の1とも言われるが、いかに低線量でも人体に影響があるとの考え方は国際機関に認められている。人口密度が高ければ影響を受ける人は増える。福島や北関東の人口密度はチェルノブイリ周辺の何倍もあり、多発の説明もつく。予想される甲状腺がんの大発生に備えた医療体制の充実が必要だ。甲状腺がんは初期の放射性ヨウ素による内部被曝だけが原因ではなく、他の放射性物質からの外部被曝の影響を示す研究もある。甲状腺がんだけでなく、すべてのがんへの影響を考えると、妊婦や乳幼児には保胎や移住も有意義だ。放射線量が高い「避難指示区域」への帰還を進める政策は延期すべきで、症例把握を北関東にも成人にも広げる必要がある。

県の検討委は、甲状腺がんは成長が遅いというが、子どもの場合の実際のデータは違う。県の検査でも、1巡目で見つからなかったがんやがんの疑いが、2巡目で25人も見つかった。すべてが1巡目での見落としではないだろう。「放射線影響は考えにくい」とは言えない。

科学の役割は、データに基づいて未来を予測し、住民に必要な施策を、手遅れにならないように提案していくことにある。（聞き手・本田雅和）

それ、手術を受けた105人中、104人ががんを確定した。

県は長期にわたって検査を続ける計画。しかし、受診率は1巡目の82%と比べ、2巡目の昨年度実施率は69%に下がった。事故で県民が全国に避難していることなどが背景にある。

そことは考えにくい。被曝から発症・多発までの期間も早すぎる。放射線が原因の可能性はゼロではないが、極めて低いと考えるのが自然だ。これらを明確にするためにも調査は続けるべきだ。ただ、過剰診断が強く疑われる現状では、調査を県外にまで広げるべきではない。たとえ1人が利益を受けたとしても、それよりはるかに多い人が本来診断されないがんを発見され、治療を受けられ、生活の変化を含めて様々な利益を被るようになる。福島県の子どもの場合でも、がんが見つかったりもすぐに治療せず、様子を見ることも検討すべきだ。福島県で甲状腺がんで亡くなる人は、死亡率からみて40歳まででも1人以下である。

現行の検査を続けながら、放射線の影響の有無について冷静に分析する必要がある。これは、国の責任でやるべきことだ。（聞き手・上田俊彦）

## 過剰診断とみるのが合理的

東京電力福島第一原発事故を受けて、福島県が子どもたちを対象に実施している甲状腺検査Ⅱで、これまでに104人が甲状腺がんを確定した。この「多発」をどうみたらよいか。放射線の影響なのか、そうではないのか。見解の異なる2人の疫学専門家に聞いた。

### 福島県の子どもの甲状腺検査

福島県が2011年10月から取り組む。対象は原発事故当時におおむね18歳以下の県民約37万人。昨春からの2巡目では事故後に生まれた乳幼児も加え約38万人となった。超音波での結節（しこり）や嚢胞（のうほう）体液の入り組んだ状態のものがないか調べ、一定の大きさ以上が見つければ精密検査に進む。

今年6月末までに138人が「がんまたはがんの疑い」と診断



岡山大大学院教授（環境疫学）

## 津田敏秀さん

「生涯発症しないような成長の遅いがんを見つけている」という「過剰診断」説もある。だが、これほどの多発は説明できない。過剰診断説を探ると、100人以上の手術が不適切だったことになってしまう。県立医大の報告では、同病院で手術を受け、がんを確定した96人のうち4割はがんが甲状腺の外に広がり、7割以上がリンパ節に転移していた。

逆に、多発と原発事故との関連を否定するデータはない。事故直後に放射線量が高かったと見られる県央部や原発周辺自治体ごとのがんの人

だ。一斉検査での「増加」は過去の報告の分析でも数倍程度。福島は桁が違ふ。多発は県の検討委員も認めざるを得なくなってきた。

「生涯発症しないような成長の遅いがんを見つけている」という「過剰診断」説もある。だが、これほどの多発は説明できない。過剰診断説を探ると、100人以上の手術が不適切だったことになってしまう。県立医大の報告では、同病院で手術を受け、がんを確定した96人のうち4割はがんが甲状腺の外に広がり、7割以上がリンパ節に転移していた。

逆に、多発と原発事故との関連を否定するデータはない。事故直後に放射線量が高かったと見られる県央部や原発周辺自治体ごとのがんの人

影響を受ける人は増える。福島や北関東の人口密度はチェルノブイリ周辺の何倍もあり、多発の説明もつく。予想される甲状腺がんの大発生に備えた医療体制の充実が必要だ。甲状腺がんは初期の放射性ヨウ素による内部被曝だけが原因ではなく、他の放射性物質からの外部被曝の影響を示す研究もある。甲状腺がんだけでなく、すべてのがんへの影響を考えると、妊婦や乳幼児には保胎や移住も有意義だ。放射線量が高い「避難指示区域」への帰還を進める政策は延期すべきで、症例把握を北関東にも成人にも広げる必要がある。

県の検討委は、甲状腺がんは成長が遅いというが、子どもの場合の実際のデータは違う。県の検査でも、1巡目で見つからなかったがんやがんの疑いが、2巡目で25人も見つかった。すべてが1巡目での見落としではないだろう。「放射線影響は考えにくい」とは言えない。

科学の役割は、データに基づいて未来を予測し、住民に必要な施策を、手遅れにならないように提案していくことにある。（聞き手・本田雅和）

## 原発事故の影響否定できぬ

甲状腺がんは初期の放射性ヨウ素による内部被曝だけが原因ではなく、他の放射性物質からの外部被曝の影響を示す研究もある。甲状腺がんだけでなく、すべてのがんへの影響を考えると、妊婦や乳幼児には保胎や移住も有意義だ。放射線量が高い「避難指示区域」への帰還を進める政策は延期すべきで、症例把握を北関東にも成人にも広げる必要がある。

県の検討委は、甲状腺がんは成長が遅いというが、子どもの場合の実際のデータは違う。県の検査でも、1巡目で見つからなかったがんやがんの疑いが、2巡目で25人も見つかった。すべてが1巡目での見落としではないだろう。「放射線影響は考えにくい」とは言えない。

科学の役割は、データに基づいて未来を予測し、住民に必要な施策を、手遅れにならないように提案していくことにある。（聞き手・本田雅和）

甲状腺がんは初期の放射性ヨウ素による内部被曝だけが原因ではなく、他の放射性物質からの外部被曝の影響を示す研究もある。甲状腺がんだけでなく、すべてのがんへの影響を考えると、妊婦や乳幼児には保胎や移住も有意義だ。放射線量が高い「避難指示区域」への帰還を進める政策は延期すべきで、症例把握を北関東にも成人にも広げる必要がある。

県の検討委は、甲状腺がんは成長が遅いというが、子どもの場合の実際のデータは違う。県の検査でも、1巡目で見つからなかったがんやがんの疑いが、2巡目で25人も見つかった。すべてが1巡目での見落としではないだろう。「放射線影響は考えにくい」とは言えない。

科学の役割は、データに基づいて未来を予測し、住民に必要な施策を、手遅れにならないように提案していくことにある。（聞き手・本田雅和）

# 菊地 臣一氏 インタビュー

1面から続く

## 健康影響 適切に発信

### 震災 5年

識者に聞く ⑪

「放射線の健康影響をめぐっては、この5年でさまざまなデータが蓄積された。しかしデータに基づいた理解が浸透していない面があり、中には全くデータに基づかないデータも流布されている。放射線のリスクコミュニケーションの重要性は高まっている。

「それは今後の最大の課題だと思っている。福島医大として反省と、そうした相手の状況が見えない。医療は基本的に『個』対『個』で行われるが、放射線の健康影響についての広報は、対『集団』という構図になりがちだった。例えば甲状腺がんを診断された

人、家族がどんな思いを抱えるか。家族がどんな思いを抱えるか。われわれ医療者だけで考えていると、そうした相手の状況が見えなくなるケースがあった。われわれは反省しなければならぬが、そもそも日本にリスクコミュニケーションの専門家が少ない。育成しなければならぬ」



「リスクコミュニケーションの専門家を育成したい」と話す菊地氏

文、つまり新聞に取り上げてもらうことができ、今ようやく『放射線の影響ではないと思われ』というところまで来ているが、まだ手探りの状態だ。手探りであるという

ことを分かりやすく伝える努力が、われわれに求められている。『ふくしま国際医療科学センターの建物が年内に完成するほか、新学部の設置が予定されるなど、福島医大の組織は急速に大きくなっている。

「その論文の誤りを指摘する反論のペーパー資料を出し、学術誌の電子版に掲載された。その論文は専門家から見れば噴飯ものの内容だが、論文は『出したものが勝ち』という面もあり、こちらから論文を出してはいるのだが、県民や国民に理解してもらえないような論

点がある。大学の研究者は論文はなくなっただものの、今でも偏った意見が専門家の中から出てくる。われわれは科学の土俵で闘わなければならない。国を引っぱる

# エチオピアで震災展中止

中止の要請をしたわけではなく、ICAEエチオピア事務

## News

15分ごろ、津若通列車が車窓、34分遅に支店に客約50人

ん舞台復帰 体調不良を月大 伎座「三いたん 五に復帰」録部の「口上

# 適切に発信

なければならぬ。何もかも分かったように発言する人もいるが、原発事故を受けて実施している甲状腺検査は世界で初めての取り組みなので、甲状腺がん(他の地域と比べて)多いかどうが誰も判断できず、今ようやく『放射線の影響ではないと思われ』というところまで来ているが、まだ手探りの状態だ。手探りであるという

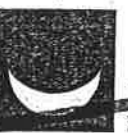
ことを分かりやすく伝える努力が、われわれに求められている。『ふくしま国際医療科学センターの建物が年内に完成するほか、新学部の設置が予定されるなど、福島医大の組織は急速に大きくなっている。

「その論文の誤りを指摘する反論のペーパー資料を出し、学術誌の電子版に掲載された。その論文は専門家から見れば噴飯ものの内容だが、論文は『出したものが勝ち』という面もあり、こちらから論文を出してはいるのだが、県民や国民に理解してもらえないような論

点がある。大学の研究者は論文はなくなっただものの、今でも偏った意見が専門家の中から出てくる。われわれは科学の土俵で闘わなければならない。国を引っぱる

14日のごみ朝 通日 74日中

月齢 5.0



福島 5:51 日出  
日入 17:44

こちら特報部

2013

こちら特報部

2014

福島に我慢強い「復興」強調

「放射能から子どもを守ろう。関東ネット」共同代表の脇ゆりかさん(左)は東日本大震災時、千葉県松戸市で五歳の長男の子育て中だった。「事故から二年ぐらひは子供を外で遊ばせなかつた」と振り返る。

三年前から夫の転勤で津市に暮らしながら、関東ネットの活動を続ける。「この辺りでは、福島のみならず、福島原発から二百キロ離れた関東にも放射能の影響があったことが知られていない。原発事故は人ごと。日本にはたぐさんの原発と地震がある。再び同じことが起きれば、全国どこでも人ごとでなくなるのに」

政府は、避難指示の解除を順次進め、精神的損害への賠償は解除時期にかかわらず、二〇一八年三月までに打ち切る方針だ。

元福島民友記者のフリージャーナリスト藍原寛子さんは「原発を再稼働させた誰かが、わざと風化させようとしてくるかのようだ」と指摘する。

「国の復興策は、福島の沿岸に最先端のロボット産

農漁業者らの苦境変わらず

一方で、農漁業関係者が、風評被害に苦しめられているのも事実だ。

福島県は二〇一二年秋から、コメの全量全袋の放射性物質検査を実施している。一五年産の大半となる一千万袋以上の検査を二月末までに終えたが、国の基準値を超えたのはゼロだった。

同県相馬市の「浜通り農産物供給センター」で農産物の直売をしているNPO法人「野馬土」代表理事の三浦広志さん(左)は「コメ農家の主な収入源だった産直米の取引がゼロになつた。安全、安心なコメを求める消費者には福島県産とついで、敬遠されてしまつ」と嘆く。

センターに併設する倉庫には放射線測定器が設置され、コメや野菜はすべて検査される。被災地の現状を首都圏などに住む人にも知ってもらうため、原発二十キロ圏ツアーなども実施し、参加者は二千人を超えた。それでも、価格は低迷したままだ。

三浦さんは「風評被害が起きる原因は、情報を隠す国や東電に対する国民の不信感と、彼らの情報をその

人ごとにさせない

市民目線の安全情報を



甲状腺の検査を受ける女の子。2月、福島県平田村で

風化

東京電力福島第一原発事故から五年。被災地の内外で、風化と風評の問題が浮き彫りになってきている。事故の記憶は次第に薄れ、政府は「復興」を強調。被災者支援策の打ち切りが進む。一方で、「信用」は回復せず、農産物や水産物の風評被害はいっこうに収束しないままだ。風化と風評という二つの「風」。メディアはどのように向き合っているのか。

福島原発事故から5年

(沢田千秋、二沢典夫)

二つの「風」にメディアは どう向き合う

風評

「淡々と安心、安全なコメ作りをしていく」と話す三浦広志さん(福島県相馬市) 釣った魚を検査のためにさばく水族館職員。2月、福島県いわき市で



まま流すマスコミにある」と断言する。「これまで来て、僕らの活動を知ってくれた人は共感して農産物を買ってくださるが、いきなり『安全だから買ってくれ』と言っても納得してもらえない。漁業はさらに深刻だ。魚

業をつくるどうか、東京五輪の合宿地を誘致するとか、避難地域への帰還を進めるとか、明るく美しい福島の未来像ばかり。避難住民は、自分たちの生活再建は取り残されたと思つている。五年たったから、もう大変だと言つてはいけなさと我慢している」

科学的根拠で客観的報道を

東京大学の関谷直也特任准教授(災害情報論)は「福島のメディアが原発事故について書かない日はない。ただ、全国メディアで取り上げられなくなった」とみる。「ニュースパブリックがないから報道されにくい。しかし、甲状腺がんの問題や漫画『美味しんぼ』の鼻血騒動などセンセーショナルな話題は取り上げる。全国紙の記者は異動が激しい上、本社のデスクは「福島が大変だ」というような記事を要求する。報道の意識が、誤解を生んだ二〇一一年のまま止まっている」と批判する。

「全国で同じこと起こりうる」

福島原発事故の直後からメルタウンが起きていたのに、東電は「炉心損傷」と過小に説明していた。五年たって明らかになった。マニュアルを見直したという。信じられるわけがない。こういうことがあるから、疑いの目を持って取材せざるを得ない。二度と被害者を出さないことがあってはならないのだ。(国)

デスマスコミ

放送メディアの業界誌「放送レポート」の岩崎貞明編集長は、報道の受け手である国民の意識に目を向ける。「人間は信じたいものだけ信じる、見たくないものから目をそらす習性がある。だから、安全を強調する情報が喜ばれる風潮があるが、それでは七十年前の戦争と同じ」と警鐘を鳴らす。

「いつの間にか、原発推進は体制派で反原発は反体制派とメディアも色分けされ、科学的根拠抜きの思想信条で原発の影響が語られ、避難住民も分断された。メディアが報道しづらい事実も客観的に伝え、社会の同調圧力を打ち破らない限り事故の収束はない」と指摘する。

早稲田大の瀬川至朗教授(ジャーナリズム論)は「一見、メディアは板挟みになり、身動きが取れないようにみえる」という。「福島の被災者、復興に対する関心の薄れ」と「福島産の農産物に対する敬遠」。風化と風評は、国民の「無関心」と「警戒」という相反する感情から生まれているとみる。

瀬川教授は「メディアは、変化の少ない日常を伝えるのが不得意で、視点がマンネリ化しやすい。日々の締め切りに追われ、情報も断片化しやすい。しかし、原発報道は、科学的な根拠を示しつつ積極的に行うべきだ。その際、人々の認識がステレオタイプ化し、偏見を持ちやすい傾向があることを忘れてはならない」とくぎを刺す。「放射能汚染に対する人々の不安心の受け止め方は、この問題特有の心理的影響があり、安全視と危険視に二分されやすい。どちらが正しいというよりも、メディアはその両者の意見をつなぐ共通の議論の場をつくる努力をすべきだろう」

「無関心」と「警戒」の橋渡し期待